学校番号	T1202

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	イラストレーション入門	単位数	１単位	年次	２～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・イラストレーションと漫画、挿し絵等の平面作品制作を通して美術に関する基本的な内容と鑑賞の分野について学習します。
・様々な作品や美術史的に重要な作品等を鑑賞しながら、多角的な見方を知ることで、より広く美術に対する理解を深め、生活や社会を明るく豊かなものにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
イラストレーション、漫画、挿し絵等の様々な技術を身に付けるとともに、表現の意図に応じて、表現方法を工夫することができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
鳥獣戯画や北斎漫画を含めた漫画やイラストレーション、挿し絵等の歴史を学習し、美術に関する幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたって美術を愛好する心情を育て、美的感性を高め、各自の創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
多様な表現方法を経験することにより、美術の創造活動の喜びを味わい、美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な知識・技能を身に付けるとともに、表現の意図に応じて、表現方法を工夫することができるようになる。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさ等から主題を生成し、創造的な表現の構想を練られるようになる。	多様な表現方法を経験することにより、美術の創造活動の喜びを味わい、美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする姿勢を育む。また、美術作品等の表現の工夫や美術文化等を理解し、その良さや美しさを創造的に味わうことができるようになる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期（後期）	オリエンテーション	・イラストレーション、漫画、挿し絵等の歴史 ・自由平面表現	a:イラストレーションや漫画、挿し絵等の歴史的背景を理解するとともに、その価値を感じ取ることができている。 b:イラストレーションや漫画、挿し絵等の様々な表現のよさや美しさに気づき、感じた事や考えたことなどを基に構想を練り、配置や構図を工夫して表現することができる。 c:イラストレーションや漫画、挿し絵等それぞれの技法を理解し、主体的に創造活動に取り組もうとしている。	プリント課題 制作課題	制作課題 作品鑑賞	鑑賞態度 鑑賞中の発言 ワークシート
	描画基本練習①	・鉛筆、色鉛筆の濃淡表現 ・幾何形体の表現 ・透視図法による空間表現	a:鉛筆や色鉛筆を用いた濃淡表現の技法について理解している。 b:幾何形体の表現を通して、配置や陰影等を工夫して表現活動を行っている。 c:鉛筆や色鉛筆を活用し、濃淡や幾何形体、空間表現等の創作活動について主体的に取り組もうとしている。	プリント課題 制作課題	制作課題 作品鑑賞	鑑賞態度 鑑賞中の発言 ワークシート
	描画基本練習②	・鉛筆表現(手のデッサン) ・鉛筆表現(人体)	a:人体の部位の躍動感や質感を巧みに表現するための技法について理解している。 b:人体の表現について、いきいきとした躍動感や人間特有の動きを表現するために工夫し、人間を美しく描くことを味わっている。 c:人体の部位表現の集合体としての表現に加え、一個の動体としての人間を主体的に描こうとしている。	プリント課題 制作課題	制作課題 作品鑑賞	鑑賞態度 鑑賞中の発言 ワークシート

前期（後期）	テーマ別課題作成	・テーマ別の課題制作 ・作品の相互鑑賞	a:これまで学習してきた表現技法・図像の配置等を踏まえて表現の工夫を行うことができている。 b:それぞれのテーマに潜在的に宿るよさや美しさに気づき、感じ取ったことや考えたことなどを基に構想を練り、配置や構図を工夫して表現することができる。 c:テーマごとに実施された創作上の工夫や思いを理解し、その良さや美しさを創造的に味わうことができる。	プリント課題 制作課題	制作課題 作品鑑賞	鑑賞態度 鑑賞中の発言 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度